

# 薬剤部からのお知らせ 2019 No.16



2019年6月10日 発行

## 「献血ヴェノグロブリンIH10%静注」の供給不足に伴う対応について（第3報）

『薬剤部からのお知らせNo.10、11』でお伝えしましたように、諸般の事情から、「献血ヴェノグロブリンIH10%静注」が供給不足となっています。対応として4月より2.5g製剤を仮採用しましたが、メーカーの月ごとの出荷状況が変化し、6月は2.5g製剤の供給がない状態となりました。また、20g製剤についても供給状況は悪化しています。これらの状況に対応するため、5g製剤のオーダーを一旦再開することとします。

供給は大変不安定な状況であり、毎月供給状況は変化します。今後も供給状況に応じてオーダー可能な薬剤が変わることが予想されますので、大変申し訳ありませんが、柔軟な対応にご協力をお願いします。

適応症が薬剤によって異なるため、困難な場合もあるかと思いますが、可能な場合には他剤を使用していただきますようお願いいたします。

**2019年6月12日(水)より、5g製剤の通常オーダーを可能とします。また、一旦仮採用の2.5g製剤のオーダーを患者指定とします。**

献血ヴェノグロブリンIH10%静注 <b>2.5g</b> ⇒患者指定でオーダー可能	献血ヴェノグロブリンIH10%静注 <b>5g</b> ⇒通常オーダー再開	献血ヴェノグロブリンIH10%静注 <b>20g</b> ⇒通常オーダー
今月分の割り当てなし	当院通常使用量程度の割り当て	当院通常使用量の2/3程度の割り当て
		

### ○ これまでの「献血ヴェノグロブリンIH10%静注」の供給不足への対応

2019/4/12	5g製剤の供給制限の連絡（第1報）
2019/4/19	2.5g製剤の仮採用、5g製剤の新規オーダー停止（第2報）
今回 2019/6/10	2.5g・20g製剤の供給制限に伴う2.5g製剤の患者制限、5g製剤の通常オーダー再開（第3報）

○ 当院における他のグロブリン製剤

献血グロベニン-I静注用5000mg	献血ベニロン-I静注用2500mg
	

○ 各グロブリン製剤の適応症（※ピンク背景は献血ヴェノグロブリンIH10%静注のみ）

	献血ヴェノグロブリンIH10%静注	献血グロベニン-I静注用	献血ベニロン-I静注用
低又は無ガンマグロブリン血症	○	○	○
重症感染症における抗生物質との併用	○	○	○
特発性血小板減少症紫斑病	○	○	○
川崎病の急性期	○	○	○
多発性筋炎・皮膚筋炎の筋力の低下改善	○		
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の筋力低下の改善	○	○	
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の進行抑制	○	○	
全身型重症筋無力症	○		
天疱瘡	○	○	
水疱性類天疱瘡	○	○	
ギラン・バレー症候群	○	○	○
IgG2値低下を伴う、反復する急性中耳炎等	○		
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における神経障害の改善			○
スティーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症		○	

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：小林)